

 JWRC 水道ホットニュース	(財)水道技術研究センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp URL http://www.jwrc-net.or.jp
---	--

地方公営企業年鑑にみる我が国の水道事業の状況 (その5)

11. 規模の大きな上水道事業・用水供給事業の建設投資の推移

表11-1～11-2及び図11-1～11-2は、規模の大きな上水道事業及び水道用水供給事業の建設投資について、平成7年度、平成10年度、(平成15年度)及び平成17年度の比較を示したものである。

表11-2は、平成7年度と平成17年度の建設投資額について全事業(法適用)との比較を行ったものであり、全事業(法適用)が63.5%であるのに対し、規模の大きな上水道10事業が75.2%と上回っているものの、規模の大きな水道用水供給10事業が40.2%と減少が大きいことがわかる。

なお、[参考図1]及び[参考図2]は、規模の大きな上水道事業及び水道用水供給事業の資本的支出について、平成7年度、平成10年度、平成15年度及び平成17年度のデータをグラフ化し、各事業体の状況を概観したものである。

表11-1 規模の大きな上水道事業・水道用水供給事業の建設投資(単位:千円)

	H7	H10	H17		H7	H10	H17
東京都	107,138,152	113,527,119	88,444,911	神奈川県内広域水道(企)	54,252,354	46,897,646	5,172,954
大阪市	30,977,628	43,554,079	12,901,926	大阪府	29,360,864	30,034,846	21,344,640
横浜市	27,924,949	24,481,905	24,267,226	埼玉県	28,023,723	27,867,829	15,621,328
神奈川県	24,578,995	21,470,918	10,892,541	愛知県	24,279,813	20,221,428	7,604,959
千葉県	55,974,722	39,263,149	62,308,237	阪神水道企業団	15,863,883	21,668,254	3,790,968
名古屋市	15,174,307	16,096,815	14,604,105	兵庫県	8,227,997	15,970,331	2,878,081
京都市	22,014,090	18,178,794	9,554,913	沖縄県	26,838,691	34,261,347	18,412,073
川崎市	10,668,349	7,529,500	4,780,064	宮城県	5,710,546	9,315,950	408,547
札幌市	16,058,574	13,564,191	9,823,698	北千葉広域水道(企)	4,226,395	2,537,366	2,051,048
神戸市	19,959,900	16,075,107	10,836,862	奈良県	10,965,778	9,701,654	6,129,187
合計	330,469,666	313,741,577	248,414,483	合計	207,750,044	218,476,651	83,413,785

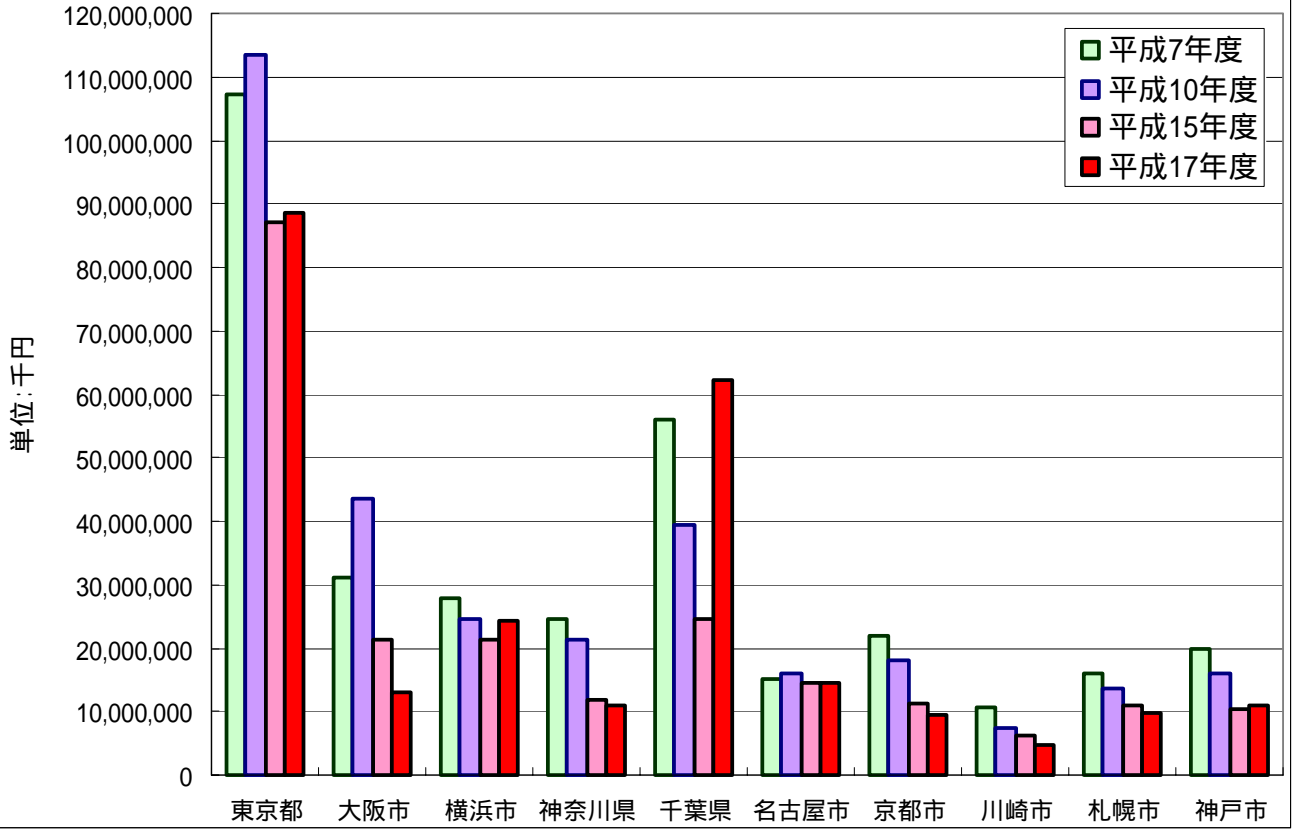
(注) 左の10事業体は上水道事業(末端給水)、右の10事業体は水道用水供給事業である。

表11-2 全事業(法適用)と規模の大きな水道事業の建設投資の推移

	H7(千円)	H17(千円)	H17/H7 (%)
全事業(法適用)	1,659,463,070	1,053,040,330	63.5
規模の大きな上水道10事業	330,469,666	248,414,483	75.2
規模の大きな水道用水供給10事業	207,750,044	83,413,785	40.2

図11-1 規模の大きな上水道事業の建設投資の推移
(H7、H10、H15、H17)

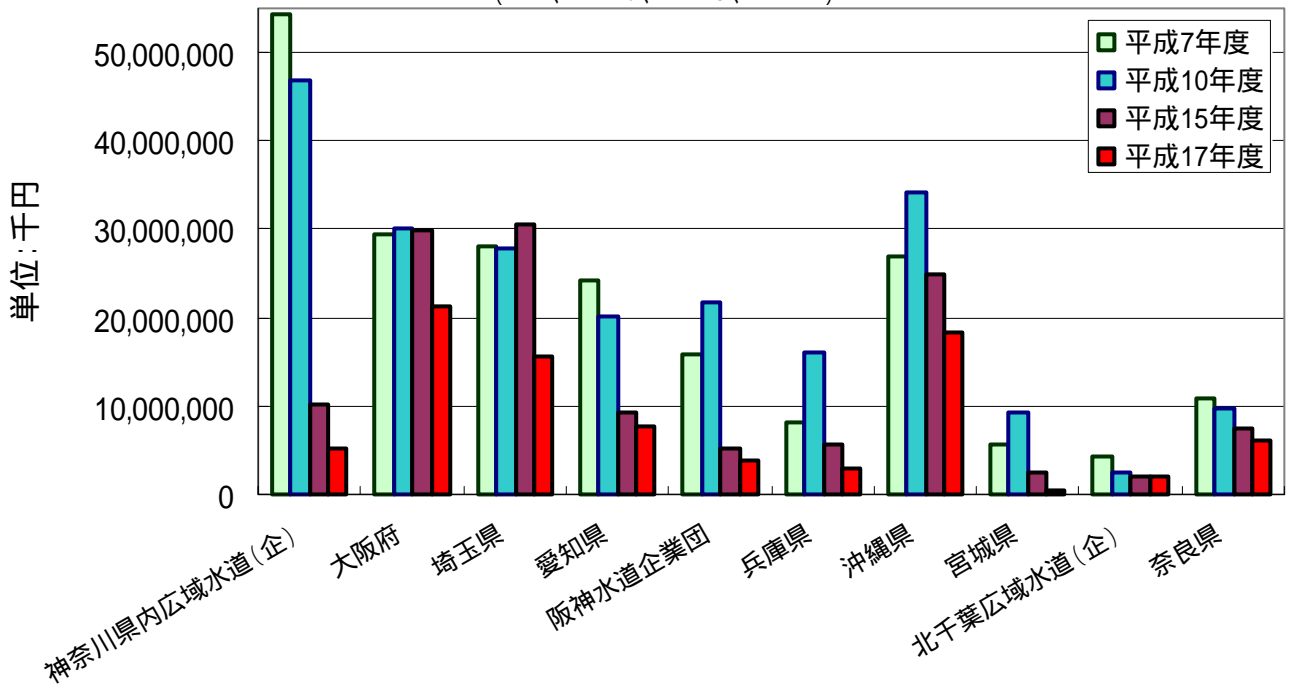
JWRC



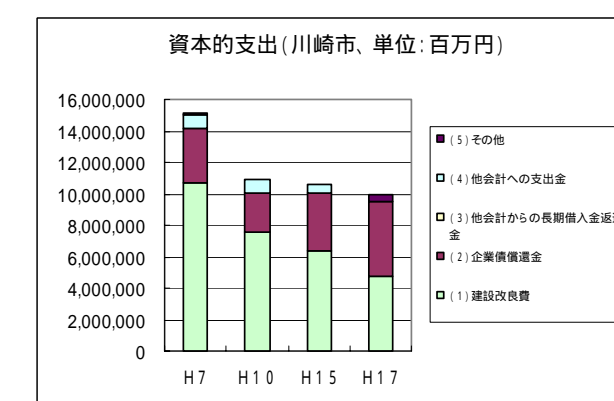
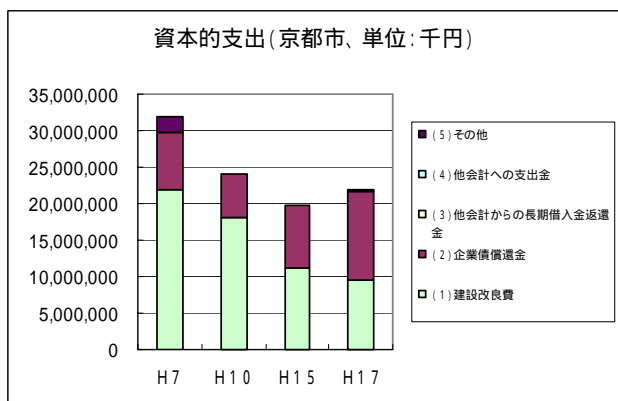
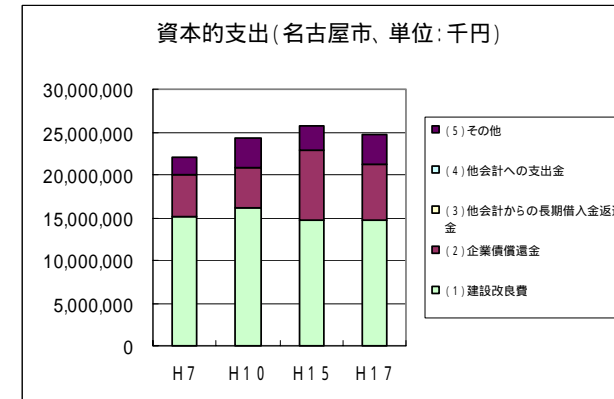
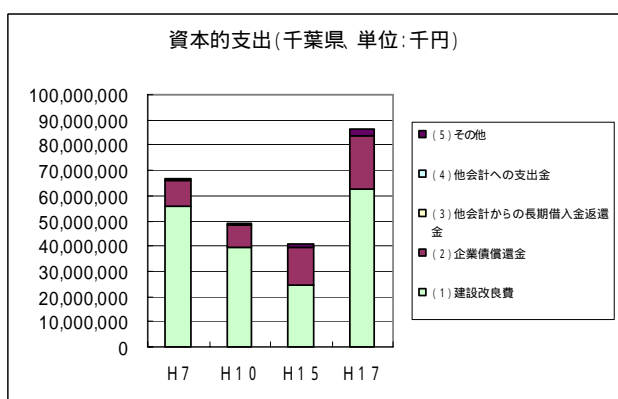
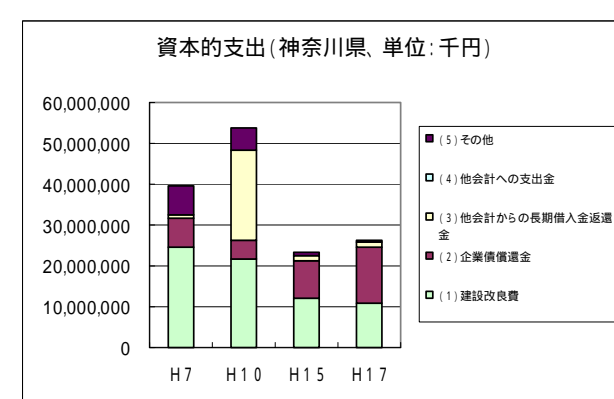
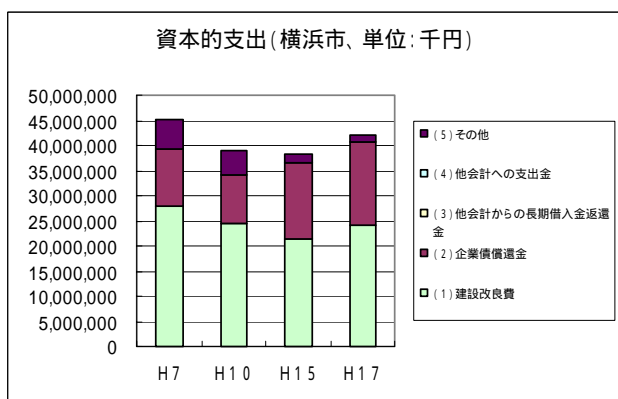
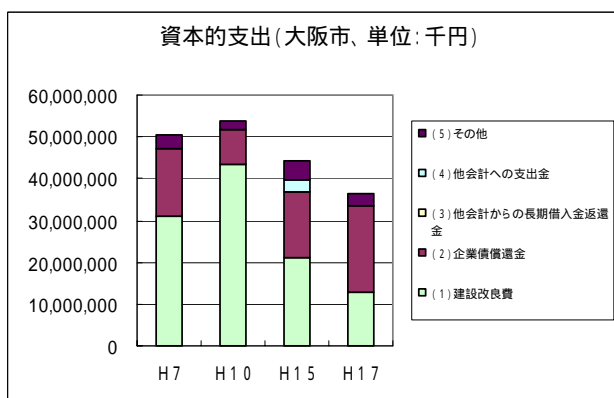
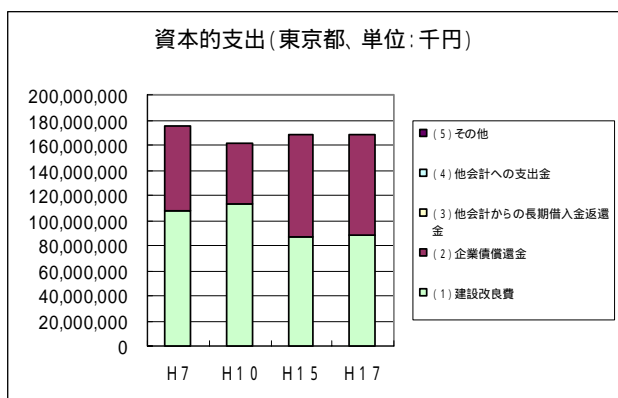
(注) 上表と下表では、縦軸の目盛り（建設投資額）が異なることに注意されたい。

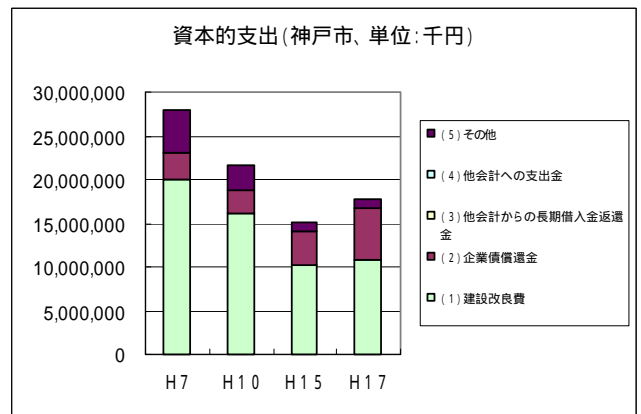
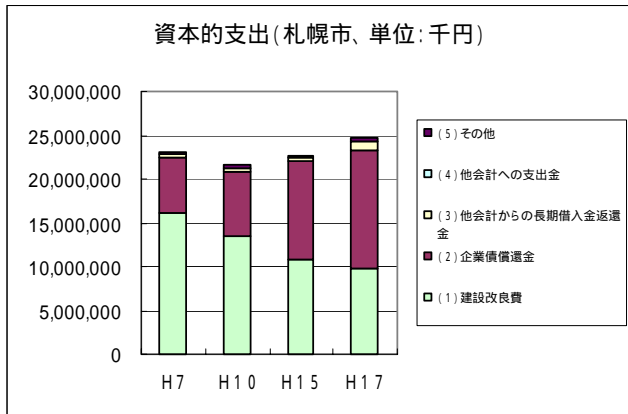
図11-2 規模の大きな水道用水供給事業の建設投資の推移
(H7、H10、H15、H17)

JWRC

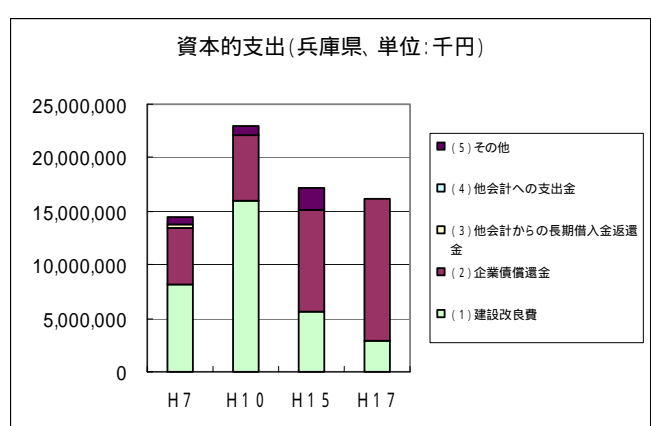
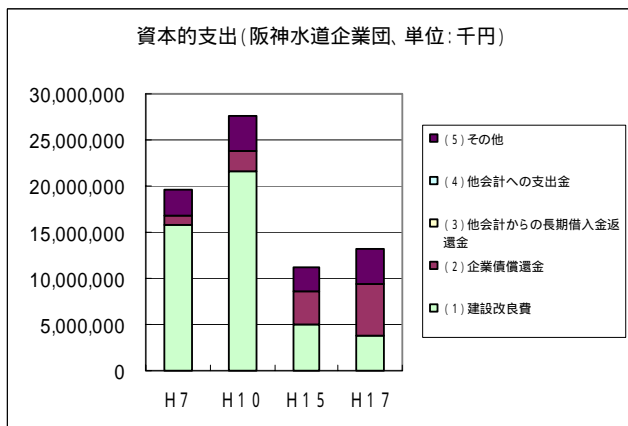
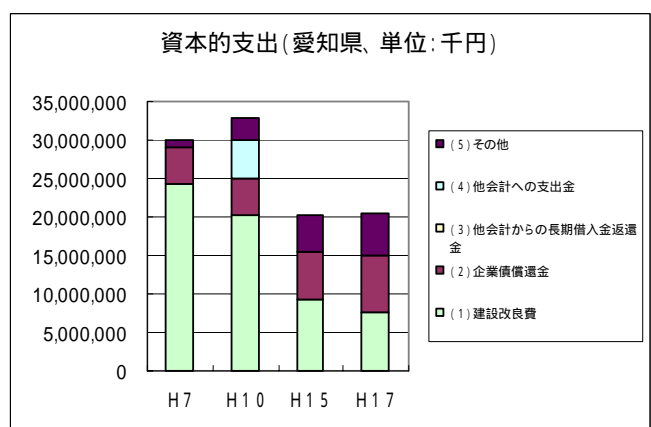
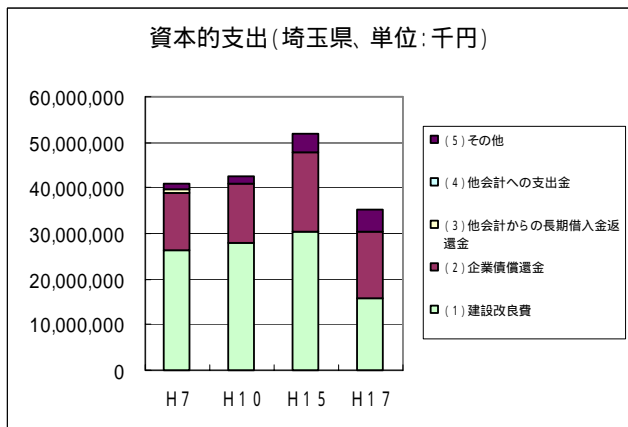
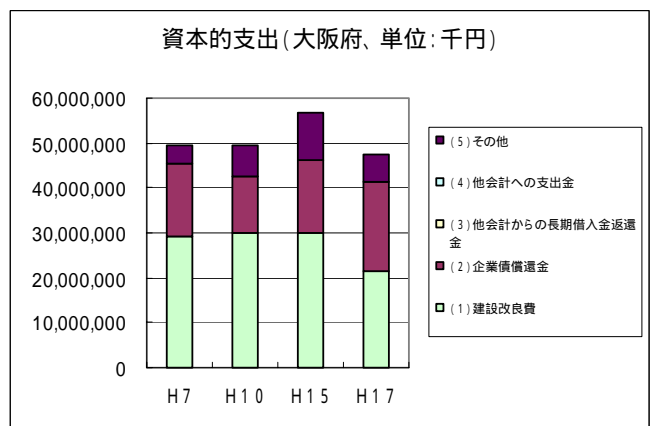
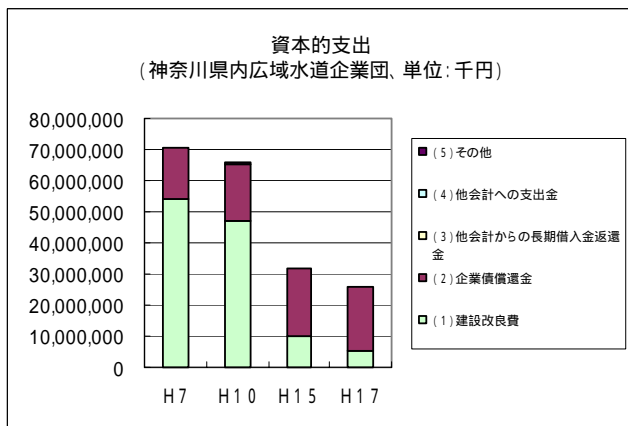


[参考図 1] 規模の大きな上水道事業の資本的支出の推移
(H 7、H 1 0、H 1 5、H 1 7)

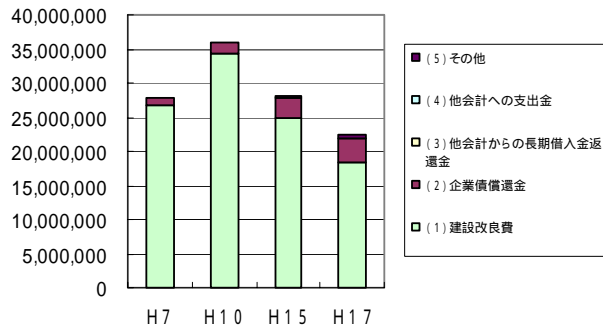




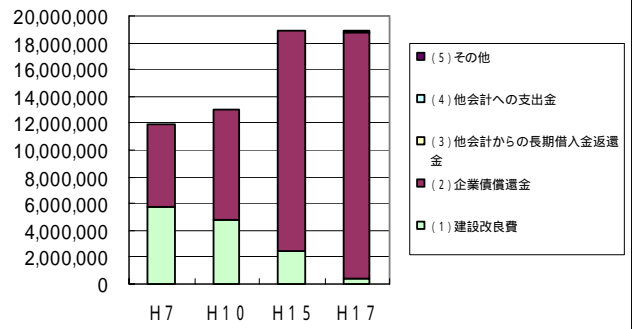
[参考図2] 規模の大きな水道用水供給事業の資本的支出の推移
(H7、H10、H15、H17)



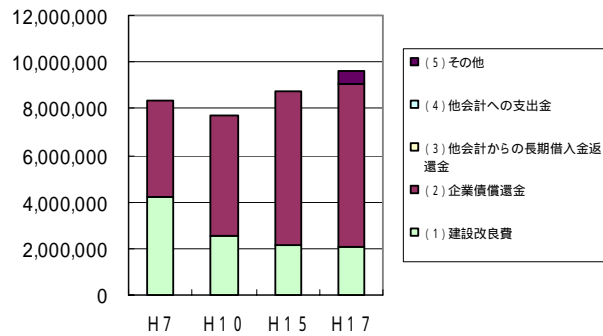
資本的支出(沖縄県、単位:千円)



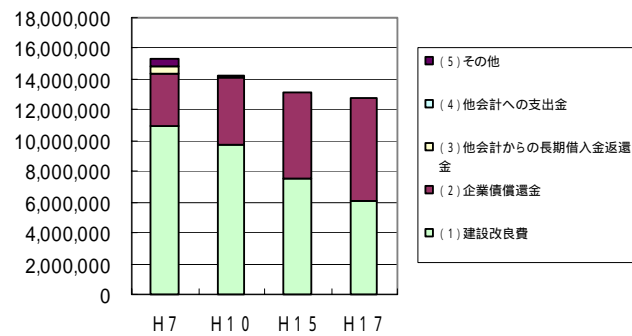
資本的支出(宮城県、単位:千円)



資本的支出(北千葉広域水道企業団、単位:千円)



資本的支出(奈良県、単位:千円)



12. 「水道事業の台所事情」～ある水道事業体のホームページから～

北海道に位置する当該市（平成17年度末の給水人口：約53千人）では、「水道事業の台所事情～過去・未来を見つめて～」と題して、分りやすい資料を作成し、市民に公表している。

この資料は、「はじめに」、「水道のあゆみ」、「水道事業の現況と課題」、「当面の事業計画と財政の見通し」、「おわりに」で構成され、図表を多く用いて解説するとともに、一般市民にはわかりにくいと考えられる「3条予算」、「4条予算」についても、一目でわかるように一つの表にしている。

例えば、表9は、「平成19年度～23年度の水道事業会計収支見通し」であるが、「表を見ていただければわかりますが、今後、給水人口の減少に伴う水道料金収入の減少、配水管や水道施設の更新を計画的に行うため建設改良費は事業規模を縮小できず、建設改良費の財源を企業債の収入を見込んでいることから、企業債元金償還と企業債支払利息が増加していることがわかります。また、新たな事業をすることで、水道事業の財産が増えることから減価償却費も増えることとなります。」と説明している。

【表9】 平成19年度～23年度の水道事業会計収支見通し (単位：千円)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	19～23計
収 入	1,473,352	1,281,168	1,195,121	1,051,302	969,960	5,970,903
料金収入	820,906	808,675	799,059	789,439	782,135	4,000,214
その他事業収入	50,100	50,100	50,100	50,100	50,100	250,500
企業債（借入金）	155,000	98,000	160,000	156,000	191,000	760,000
その他資本的収入	15,000	11,400	7,000	2,000	2,000	37,400
内部留保資金	432,346	312,993	178,962	53,763	-55,275	922,789
支 出	1,493,051	1,429,263	1,466,456	1,439,651	1,493,065	7,321,486
事業経費	410,974	402,516	400,316	398,520	397,292	2,009,618
減価償却費	301,895	304,814	304,683	311,376	317,526	1,540,294
資産減耗費	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	112,500
建設改良費	380,646	299,714	330,858	309,810	365,904	1,686,932
元金償還金	221,700	249,607	265,146	260,231	257,903	1,254,587
支払利息	155,336	150,112	142,953	137,214	131,940	717,555
収 支	-19,699	-148,095	-271,335	-388,349	-523,105	-1,350,583

(出典)

<http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp/water/daidokoro.pdf>

最近、水道事業体のホームページで「水道事業会計」についても掲載するようになってきているが、例えば、「分かりやすい解説がなされているか」、「単年度収支だけでなく、将来見通しも示しているか」、「内部留保資金はどう確保されているのか、その使い道はどうやって決めるのか」など、財政の専門家だけが理解できるのではなく、市民の立場でみて分かりやすいものとなっているかどうか検証し、よりわかりやすいものとする工夫が必要ではないだろうか。

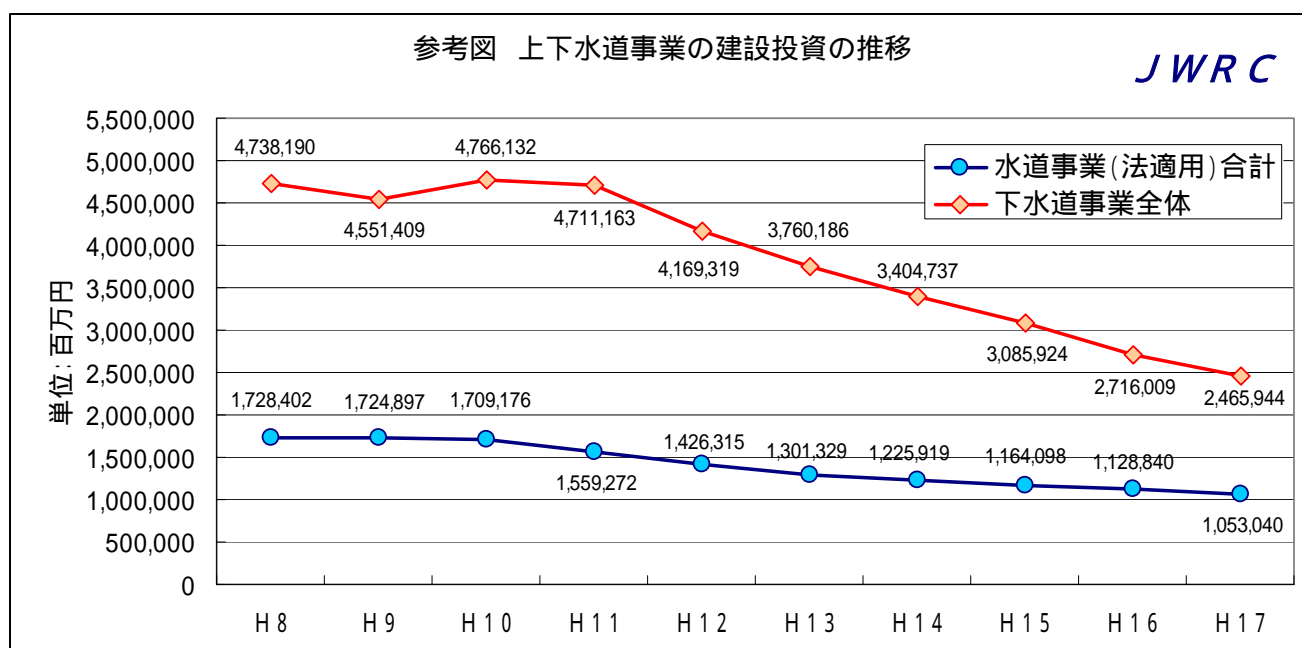
(参考) 上下水道事業の建設投資の推移

以下の「参考表」、「参考図」は、「水道事業(法適用)の建設投資合計額」、「下水道事業全体の建設投資額」について、最近10年間の推移を参考までに示したものである。

参考表 上下水道事業の建設投資の推移

(単位:百万円)

	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17
水道事業(法適用) 合計	1,728,402	1,724,897	1,709,176	1,559,272	1,426,315	1,301,329	1,225,919	1,164,098	1,128,840	1,053,040
下水道事業全体	4,738,190	4,551,409	4,766,132	4,711,163	4,169,319	3,760,186	3,404,737	3,085,924	2,716,009	2,465,944



(文責) センター常務理事兼技監 安藤 茂

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214

FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。